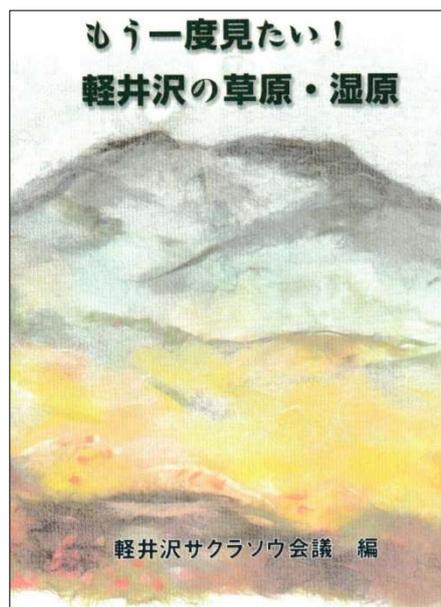


軽井沢サクラソウ会議の発行物



『もう一度見たい!軽井沢の草原・湿原』 2005 年

軽井沢在住の 39 人が語った、花を中心とした自然や暮らしの思い出

巻頭:1925 年頃と現在の軽井沢の土地利用図、

巻末:1976 年~1980 年までに町内で撮影された山野草の写真 81 葉も収録。中には、野生絶滅の植物も。

植物名索引付き (B6 版、216 ページ、)



軽井沢町が、森林の町ではなく、草原・湿地の町で、山野草の宝庫だったことを初めて知った。植物地理学・日本の地史を考える上でも貴重な山野草を保全することは、この町のアイデンティティを大切にすることであり、価値を高めることではないだろうか。



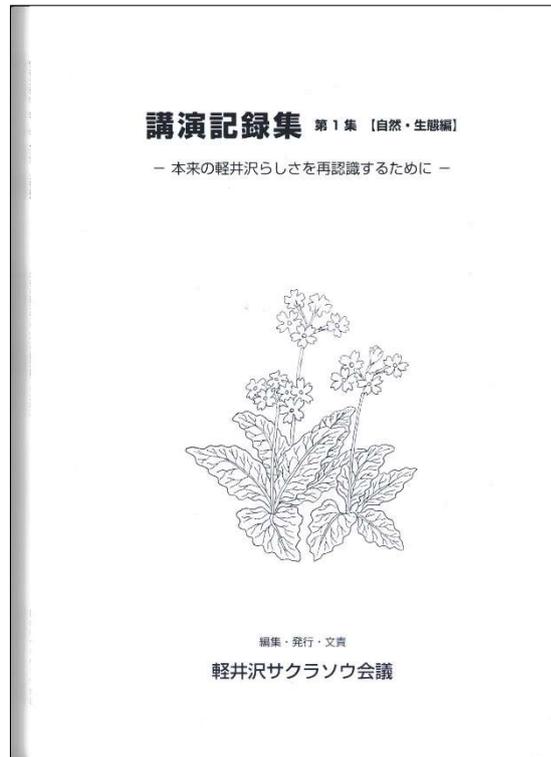
現在となってお話をお聞きすることもかなわなくなってしまった方々の声が聞こえてくるようです。こんな時代にタイムスリップして、あふれんばかりの野の花を見てみたい。



地蔵が原のオキナグサや南軽井沢のサクラソウが一面に咲く夢のような風景につき、多くの方が思い出を綴っていらっしゃる事に感動しました。

しかしまた、それらが人為的になされた無神経な”開発”により永久に失われた事が最も悲しく印象に残りました。

生物多様性の重要性が明らかになった今、貴重な自然を大切にしていかなければいけないと今更ながら肝に銘じました。



『講演記録集 第1集【自然・生態編】

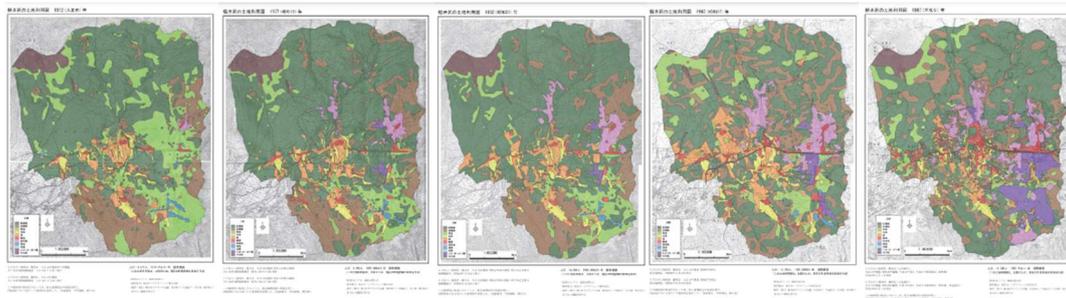
『本来の軽井沢らしさを再認識するために』 2009年

.....目次.....

1. 地域における自然の役割ー自然・人間関係の歴史を見ながら 哲学者 内山 節
2. 軽井沢のサクラソウ集団の特徴 ～日本全国の自生地とくらべて～ 東北農業研究センター 本城 正憲
3. 軽井沢の野生動物と外来種問題 ワイルドライフコミュニティ研究所 福江 佑子
4. 春植物のヒミツ 戸隠地質化石博物館 中村 千賀
5. 火入れによって草原生態系を保全する 岐阜大学 津田 智
6. 軽井沢で救えなかった鳥、救いたい鳥 金沢大学大学院 石塚 徹
7. 夜明け前の南軽井沢で、オオジジギの急降下音を聞こう！ 金沢大学大学院 石塚 徹
8. 湯川ふるさと公園にコムクドリの巣箱をかけよう！ 金沢大学大学院 石塚 徹
9. 浅間山の火山活動と山麓に生きた人々ー3万年前から1783年までー 浅間縄文ミュージアム 堤 隆
10. 軽井沢・扇平の湿地植生の重要性ー生態系はなぜ大切かー 信州大学 島野 光司

.....

(A4版 73ページ) (軽井沢サクラソウ会議主催の「軽井沢風土フォーラム」での講演の記録集)



「軽井沢土地利用変遷図」2014年

<作成の目的> (この変遷図に同封の説明書から)

私たちの町、軽井沢は自然豊かな町として知られてきた。しかし、これまで軽井沢町の土地利用の変遷に関する資料となりうる地図は存在しなかった。

軽井沢町の土地利用の様子を推察する一資料として、1900年代初めに全国統一された国土地理院発行の「5万分の1地図」に基づいて、過去100年にわたる軽井沢町の土地利用の変化を5時期に分けて、大まかに把握することを目的とする。(1912(大正元年)、1937(昭和12)年、1952(昭和27)年、1962(昭和37)年、1997(平成9)年の5枚)

土地利用調査の精度は時代ごとに改良されてきたので、これらの地図を同一次元で単純に比較することには無理があると考えられるが、その限界を認識しつつ、なお土地利用の変化を知ることは歴史的な資料価値があると考え作成した。

この変遷図を参考に住民への聞き取り調査や、他の資料との比較検討などによって、より精度の高い土地利用変遷図が、近い将来作られることを期待する。(A3版5枚、カラー。土地利用別割合 一覧付。)